

ボーンヤードショール

デザイン：スティーヴン・ウェスト



シンプルな、モバイル編みや家でくつろいで編むのにピッタリの三角ショール。
このあったか小物のパターンはいったん編み始めたら簡単に覚えられます！

僕は並太のツイードウール糸でこのショールを編みましたが、極太や中細、段染め、コットン、シルク等、どんな太さ、素材の糸でもステキなものができるでしょう。糸の指定号数よりも太い針を使っているのは、糸の長さを最大限引き出せるからです。ラフゲージ気味に編むことで美しいドレープを出すこともできます。

材料・用具

針：10号80cm輪針

糸：ローワン Rowanspun DK(ウール100%、199m/50g、6-8号、廃盤)3玉、または並太(8ply)約600メートル

その他：目数リング2個

パターンについて

このショールは作り目をした後、増し目で編地を大きくしていき、外側のガーター編みの縁で編み終わります。
最初と最後の2目は毎段表編みをし、一段おきに4目増し目します(段の始めと終わりで1目ずつと、真中の「背骨」となる目の両脇で1目ずつ)。編み進むにつれ、12段ごとに「筋」を編んで編地に風合いを出し、ガーター編みの縁で全体をまとめます。増し目にはねじり増し目*を使っていますが、代わりにかけ目を使うと縁が穴あき模様になります。

*ねじり増し目についてはこちらをご覧ください。

・右側：<http://gosyo-shop.jp/shopbrand/080/O/>

・左側：<http://gosyo-shop.jp/shopbrand/081/O/>

【編み方】

一般的な作り目で5目作る。

セットアップ

段1(裏側)：表2目、裏1目(リングをこの真中の目の両脇につける)、表2目

段2(表側)：表2目、ねじり増し目右側、表1目、ねじり増し目左側、表2目

段3(裏側)：表2目、裏3目、表2目

本体

奇数段(表側)：表2目、ねじり増し目右側、真中の目まで表編み、ねじり増し目左側、表1目(=真中の目)、ねじり増し目右側、端から2目まで表編み、ねじり増し目左側、表2目



* 偶数段(裏側):表2目、端から2目まで裏編み、表2目

奇数段と偶数段をくり返して、メリヤス編みで編んでいきます。

* 偶数段は12段ごと(裏側)に、裏編みをする代わりにすべての目を表編みし、「筋」を出します。

好みのできあがり寸法にあと5センチになるまで、本体のパターンを編みます。

縁編み

奇数段(表側):表2目、ねじり増し目右側、真中の目まで表編み、ねじり増し目左側、表1目(=真中の目)、
ねじり増し目右側、端から2目まで表編み、ねじり増し目左側、表2目

偶数段(裏側):表編み

ガーター編みが出来るよう、糸を十分に残しておいて下さい!

終わりの部分では段が長く目数が多いので、糸が多く必要です。

【仕上げ】

縁が好みの長さになったら、すべての目を止め、糸を始末します。

(僕は伸縮性のある好きな止め方の一つ、エリザベス・ジーマーマンさんの巻き止め*で止めましたが、
縁の仕上がりに満足しています)。[* <http://www.youtube.com/watch?v=MfnavSY2Rug> をご覧ください]
ブロッキングはお好みで。

Enjoy!



2012年11月一部改訂

©日本語版:小川菜穂子/Atelier Knits 2012

(<http://atelier-knits.com/>)